

～武満徹没後 30 年記念企画 伝統芸能のススメ [雅楽]～
「今昔雅楽集 四、秋庭歌一具」開催のお知らせ

平素は当館の活動にご協力賜わりまして、誠にありがとうございます。

今秋、当館では「武満徹没後30年記念企画」として、3つの公演、①「講座 片山館長とめぐるシリーズ〈第1回 武満徹〉」(9/5[土])、②「武満徹の肖像」(9/26[土])、③「今昔雅楽集 四、秋庭歌一具」(10/4[日])を開催いたします。この度は、「今昔雅楽集 四、秋庭歌一具」公演について、ご案内申し上げます。

本公演では武満徹(1930～1996)が見つめた雅楽の世界を、音楽評論家で水戸芸術館館長の片山杜秀のナビゲートにより、ひも解きます。

第一部は、武満が初めて雅楽を生で聴いた1961年の宮内庁秋季雅楽演奏会の曲目を抜粋、再構成してお贈りします。武満はこの演奏会で笙の響きに感銘を受け、後にオーボエと笙の二重奏曲〈ディスタンス〉を作曲しました。今回は古典雅楽の管絃と舞楽の間で、この前衛作品〈ディスタンス〉を、東海村出身の気鋭のオーボエ奏者・荒木奏美と笙の第一人者・宮田まゆみにより演奏いたします。

第二部では、武満の生涯で最長の作品であり、現代雅楽の最高傑作とされる〈秋庭歌一具〉を上演します。出演する雅楽団体「伶楽舎」は結成以来、〈秋庭歌一具〉のより良い演奏に取り組んでおり、水戸芸術館では「今昔雅楽集」シリーズに出演を重ね、質の高い演奏と分かりやすい解説でご好評をいただいております。当館では2018年に〈秋庭歌一具〉の中央楽章〈秋庭歌〉を上演して以来、満を持しての「一具」(全編)の披露となります。

第一部で武満が雅楽と出会った原点にさかのぼり、第二部ではその結実ともいえる〈秋庭歌一具〉を聴くことを通して、雅楽の伝統とそれを創造の源泉とした武満の音楽世界とを、立体的に体験できる公演です。

つきましては、貴媒体にてご紹介くださいますようお願い申し上げます。

武満徹没後 30 年記念企画 伝統芸能のススメ [雅楽]
今昔雅楽集 四、秋庭歌一具

2026年10月4日(日)

15:30 開場・16:00 開演

【会場】水戸芸術館 コンサートホールATM

【料金】全席指定／一般 4,500円

U-25 (25歳以下) 1,500円

9月26日「武満徹の肖像」セット券7,000円

【出演】

伶楽舎、荒木奏美(オーボエ)、宮田まゆみ(笙)、片山杜秀(ナビゲーター／水戸芸術館館長)

【曲目】

管絃：太食調音取(たいしきちょうのねとり)、

合歡塩(がっかえん)、嘉辰(かしん)、抜頭(ばとう)

武満 徹：ディスタンス(1972)

オーボエ 荒木奏美、笙 宮田まゆみ

舞楽：還城楽(右方)(げんじょうらく うほう)

武満 徹：秋庭歌一具(しゅうていがいちぐ)(1973/79)

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団



【チケット取り扱い】

好評発売中

水戸芸術館 (9:30～18:00 / 月曜休館)

【電話】チケット予約センター Tel.029-231-8000

【WEB】<https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

【窓口】エントランスホール内チケットカウンター

【お問合せ】企画について：水戸芸術館音楽部門(担当：篠田) Tel.029-227-8118

ご掲載について：水戸芸術館広報係(担当：君島) Tel.029-227-8111

E-mail: kouhou@arttowermito.or.jp

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>